

写真ワークショップのミッション

1) 写真活動のミッション！

写真は「選択する芸術」と言われます。

自分で被写体を選び距離を選び位置を選ぶことをしなければ写すことはできません。まさに写すことは、主体の回復なのです。

選択することで主体を自覚し、主体を発揮することを試みる実践です。

写真を通して精神障がい当事者自身が受動的でなく積極的なモチベーションを持って自分のことは自分で決定していくことを支援することが、写真ワークショップのミッションです。



2) 写真撮影のコンセプト！

精神障がい当事者が写真ワークショップを通して、地域に出ていき住民の方と触れ合ったりする中で、自分の感性を発見したり、地域の素晴らしさを再発見することで自信と誇りを回復することを目指しています。

精神障がい者特有の対人関係や社会生活機能の改善に、写真ワークショップが有効に作用すると考えられます。

○ 人の視線が過剰に気になる！

- ・見られることから、見ることに反転する

○ 人と話すのが苦手！

- ・街でカメラを持っていると優しく話しかけられる
- ・撮影後、撮った写真を話題に話す

3) 写真の撮影姿勢に関して！

- ・自分が撮りたいという興味と意欲を持って撮った写真が、最高である。
- ・写真が上手いとか下手という事を気にせず、自分の感性を信じて撮ることに意味がある。
- ・テクニックは、二次的な事であって経験を積めば必然的に上手くなる。

4) 実施機関

- ・江南よしみ地域生活支援センター（宮崎市）：2008年～2013年、月2回
- ・若草病院デイケア（宮崎市）：2008年～2013年、月2回
- ・あいクリニックデイケア（宮崎市）：2008年～2013年、月1回

- ピアメンタルささき病院デイケア（宮崎市）：2013年6月より実施
 - 井上病院デイケア（宮崎市）：2013年7月より実施
 - 谷口病院デイケア（日南市）：2013年7月より実施
 - 延岡市地域活動支援センターみなと：2013年1月
 - 宮崎市保健所（難病患者・家族交流会）：2011年～2013年、年1回
 - ドキュメンタリーフォトフェスティバルでの写真ワークショップ：2009～2013年、年1回
-

＜焦らず、頑張らず、無理せず、のんびりと＞ NPO 法人 宮崎もやいの会

880-0867 宮崎市瀬頭2丁目8-12 中村レジデンス3F

TEL&FAX：0985-71-0036/090-3884-2574

<http://www1.bbiq.jp/m-moyai/index.html>

E-mail：m-moyai@kag.bbiq.jp

障がい者写真集団「えん」ブログ <http://photoen.miyachan.cc/>